

「みんなと話していると自然と笑顔になります」

コープふくしま、いわて生協、みやぎ生協では、仮設住宅や復興公営住宅の集会所などを利用し、地域の皆さんが集まってお茶を飲みながらおしゃべりしたり料理や手芸などを行う、ふれあいサロンを開催しています。避難生活で孤立しがちな被災者にとって、ふれあいサロンは大切なコミュニティづくりの場です。

今回訪ねた福島県大玉村営横堀平団地では、富岡町などから避難してきた約100人の被災者が暮らしており、皆さまにお寄せいただいた募金を活用して、月2回程度ふれあいサロンを開催しています。サロンに参加された方からは「家にこもっているより、みんなとお話できるサロンをいつも楽しみにしています。話していると自然と笑顔になっているの」といった声が寄せられました。



この日は、横堀平団地に避難されている8名がサロンに参加。コープふくしま、大玉村さくら社会福祉協議会の職員もスタッフとして参加されていました。お茶やお菓子をいただきながら、バターゴルフなどを通じて交流し、楽しいひと時を過ごしました

サロンには毎回参加しています。避難生活にはまだいくつか問題はありますが、最近やっと震災当時の話ができるようになり、心が少しすっきりしました



サロンに参加された皆さんより

ご飯はひとりで食べるより、みんなで食べる方が100倍おいしいわ

サロンがない日も誰かの家に集まってお茶会をしているの。誰か一人でも欠けると心配になるのよね

募金は被災された方々のため、大切にに使わせていただいています

今年度も多くの方に募金へご協力いただき、10月までに約800万円が寄せられました。あたたかいご支援をありがとうございます。お預かりした募金はふれあいサロンの活動費や、サロンで使うお菓子の贈呈、福島の子ども保養プロジェクト(コヨット)*の支援など、被災地の方々の心のケアやくらしの応援のために、大切にに使わせていただいています。

*福島の子ども保養プロジェクト(コヨット)：福島県内の家族を招き、子どもたちの外遊びや保護者のケアを支援する取り組み。

みそ汁をみんなで作り、それぞれ持ち寄ったおにぎりと一緒にいただきました



引き続き「東日本大震災復興支援募金」にご協力をお願いいたします

被災者数も仮設住宅や復興公営住宅に住む世帯数も震災直後から徐々に少なくなってきました。しかし、原発事故の影響もあり、復興はいまだ道半ばです。生活の再建の進み具合には地域差、個人差があり、孤立化や高齢化など新たな課題も出てきました。

コープみらいでは「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」を合言葉に、1日も早い復興を願って支援を続けていきます。引き続き、皆さまのご協力をよろしく願いいたします。

宅配では

OCR注文書の6桁注文欄に申込番号と口数をご記入ください。全ポイントの場合は数量「1」とご記入ください。 ※eフレズからもお申し込みできます。

金額での募金

286443 1口
100円

286605 1口
1,000円

ポイントでの募金

287024 1口
10ポイント

287032 1口
100ポイント

287041 全ポイント

店舗では

レジまたは募金箱にて受け付けます。レジでは、東日本大震災復興支援募金の募金カードを取り、レジ担当者に金額とともに申し付けください。ポイントカードのポイントでの募金も承ります。

※この募金は、税務上「寄付金控除」の対象にはなりません。 ※ポイントでの募金の場合は1ポイント1円で募金いただけます。

コープで
広がる、
つながる

「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」
東日本大震災復興支援募金へ
ご協力をお願いいたします

東日本大震災から6年9カ月が経ちます。これまでも
たくさんの方に「東日本大震災復興支援募金」にご協力いただきました。
お寄せいただいた募金は、被災地の生協や
コープみらいが取り組む支援活動に活用されています。
今回はその活動の一つ、「ふれあいサロン」をご紹介します。